

トウカイコルリクワガタ

兵庫県：要注目

Platycerus takakuwai akitai

環境省： —

種の概要

体長♂8.5～11.5mm、♀8.5～10.0mm。♂は青みが強く、前胸背板は中央付近で幅広く、後方に狭まり、後角は多少突出する。♀は紫銅色または緑色をおびた唐金色で、短太で上翅は後方に強く膨隆する。成虫は秋に朽ち木内で羽化し、そのまま越冬、翌春早くから出現し、ブナやコナラなどの新芽に集まる。本種は当初コルリクワガタの亜種として扱われていたが、現在はトウカイコルリクワガタの亜種とされる。



写真提供：森正人

国内分布

本州

県内分布記録

神河町

選定理由

| 人為性 | | 特殊生息環境 | 学術性 | | |
|-------|--------|--------|-------|-------|----|
| 個体数激減 | 生息環境激変 | | 分布が極限 | 分布の限界 | 希少 |
| | | | ○ | | ○ |

特記事項

前回のRDB(2012年)で県内分布記録としてあげた宍粟市、豊岡市、養父市、香美町、新温泉町産の種類は、別種ニシコルリクワガタ *P. viridicuprus* として新種記載された結果、トウカイコルリクワガタの生息地は神河町だけとなる。別名、キンキコルリクワガタ。

保護上の留意点

樹林の保全